

コンクリート構造物を補修・補強 特許工法の全国施工体制強化へ

SGエンジニアリング

SGエンジニアリング(西区草津東、加川順一社長)は、独自開発のコンクリート構造物を補修・補強する特許工法「I P H工法」(内圧充填接合補強)の施工実績、受注件数を堅調に伸ばしている。ⓂI P H工法協会(理事長同)会員企業を通じて同工法が採用された愛媛県西条市の土木遺産大宮橋の補修・補強工事を完了し、性能と強度の確認を終えて10月に引き渡した。協会組織で全国を網羅できる施工体制を敷いており、同工法の技能士は約1300人を数えるが、将来は5000人体制を目指す。

同橋は1927年竣工。全長42・9、幅4.1の鉄筋コンクリートアーチ橋で石鎚山の溪谷に架かる。2005年に土木遺産登録された。施工は四国の会員Ⓜ大野塗装店(松山市)が軸となって完成した。

高度成長期に打設されたコンクリート構造物の劣化対策が急がれる中、全国的に長寿命化の需要が高まり、近年は橋、トンネル、ダムなどの公共構造物をはじめ歴史的建造物など施工対象が多様化している。SGエンジはI P H工法協会のコア企業として同工法を開発、普及。同協会員は現在、北海道〜沖縄に150社を数える。「人の命を守る使命」(加川社長)を掲げ、全国普及へ会員育成を急ぐ。10月29日は、例年夏に名古屋大学で実施する「コンクリート

構造物の長寿命化に関する講習会」をウェブ会議のズームで開く。同大の中村光教授と加川理事長が講演。技術者の継続教育制度CPD(2・7単位)の対象で、官民の技術者や大学関係者ら広く受講を呼び掛けている。定員300人、受講は無料。

8月の鉱工業生産 3カ月連続持ち直しの動き

中国経済産業局がまとめた8月の中国地方の経済動向は「前年レベルには至らないが生産は持ち直しの動きがある。個人消費も持ち直し、雇用は有効求人倍率が低下。全体としては新型コロナウイルスの影響で弱い動きだが、持ち直しの動きが見られる」と3カ月連続の上昇傾向だった。

鉱工業生産指数は前月比0・8%増の89・1(2015年=100、季節調整済み)、出荷2・0%増の86・7、在庫1%増の100・7。生産上昇は10業種で、「輸送機械工業(車・部品)」、スマホやカーナビ向け部品の「電子部品・デバイス工業」、定期修理に備えた在庫積み増しで「化学工業(医薬品除く)」など。生産減少は7業種。

東急ハンズ広島に液晶画面 睡眠の悩みオンライン相談

三十八花堂

法人向けカウンセリングなどの三十八花堂(中区八丁堀)は9月26日、東急ハンズ広島店3階の化粧品売り場の一角に、心のバランスを保つ植物療法の商品「バッチフラワーレメディ」の特設売り場をつくり、カメラ付き液晶画面を設置した。同社スタッフは事務所に常駐し、来店者からの商品の質問や睡眠の悩み相談などに画面越しで応じる「リモート相談室」に取り組む。

商業6業態の販売額は2193億円で、前年同月比1・8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。増加業態は4つで、ホームセンターが猛暑による散水用品や空調機器の好調を受けて16・7%と7カ月連続、ドラッグストアが飲料やアイスの販売増加などで15・1%と10カ月連続、家電大型店は空気清浄機などが売れて8・7%と4カ月連続、スーパーは飲食料品が堅調で1%と4カ月連続のプラス。生鮮品を除く消費者物価指数は0・4%下落した。

▽廿日市クリーナー(廿日市市、中西雷太社長)は10月20日、日本赤十字社広島県支部に一体型小型電動ファン付き呼吸器防護具4台を寄贈した。コロナ感染対策に救急外来や手術室での装着を想定。同支部を通じて広島赤十字・原爆病院で使用される。同防具はH E P Aフィルターを通し浄化した空気を電動ファンで送るマスク機能を持ち、医療従事者の感染リスクを大幅に減少できるという。災害救護活動や赤十字活動は個人・法人からの寄付で成り立っており、コロナ禍などの影響で赤十字への寄付金が減少傾向という。

コロナ禍でセルフケアの意識が高まる中、専門家による詳しい商品説明で販促しようと、東急ハンズ広島店が、バッチフラワーレメディ商品の専門知識を持つ同社に依頼。同社のスタッフらが、接客や5分程度のカウンセリングに応じる。水曜の午後1〜3時・5〜7時はオンラインで、土曜の同時間帯は店頭対応。保田厚子社長は、「リモートだと県外や複数の店に対応できる。新しい接客の形として、ヒントになればと思います」東急ハンズでの同商品の売り上げはコロナ禍で1・5倍とっており、さらなる伸びを期待する。

タオル・寝装品
株式会社 **オカカ**
南工センター ☎277-0488